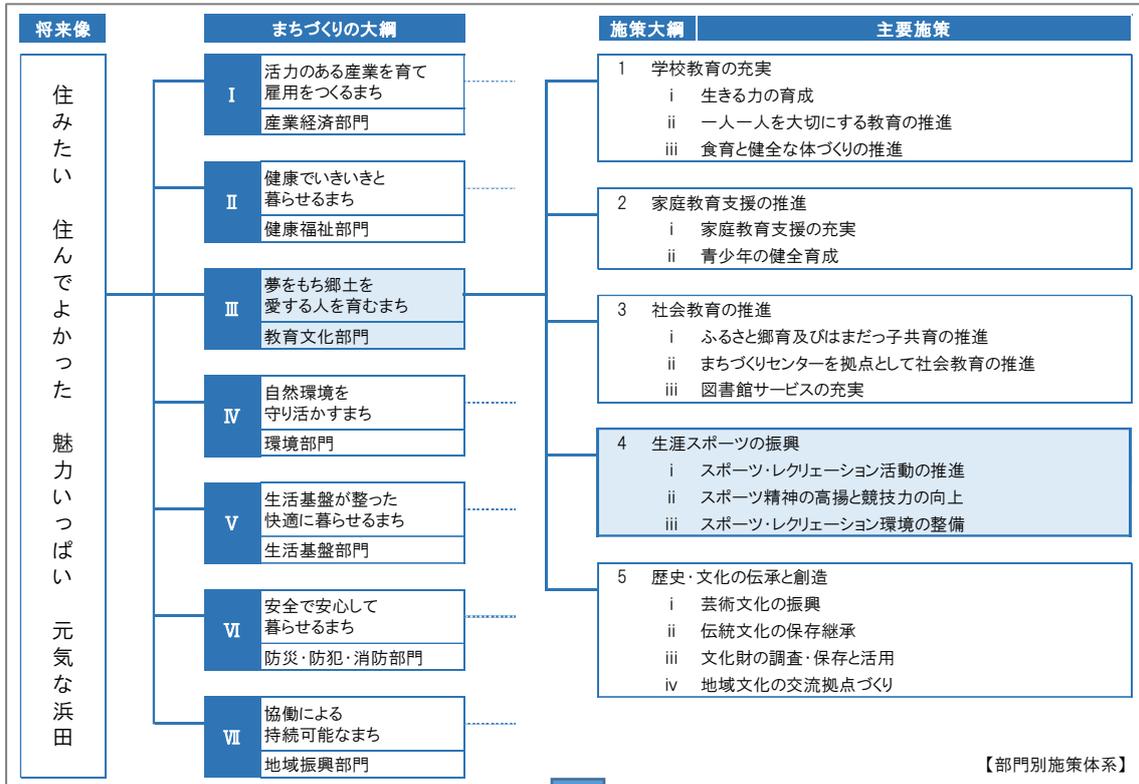


浜田市のスポーツ行政について

【第2次浜田市総合振興計画における目標・進捗状況等について】

- ・基本構想：平成 28（2016）年度～令和 7（2025）年度
- ・後期基本計画：令和 4（2022）年度～令和 7（2025）年度



4 生涯スポーツの振興 ～スポーツを通じた心身の健康増進～

現状と課題

- 少子高齢化により競技人口が減少するなか、市民のスポーツに対するニーズは、技術や体力の向上のみならず、人間性や社会性の涵養など多様化しています。
- 「人生 100 年時代」を見据えて、心身ともに健康で過ごせる健康寿命の延伸が課題となっています。一人一人のライフスタイルに応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現が求められています。
- 各競技において活躍する浜田市にゆかりのある選手や地元を拠点とするチームの活動は、市民に夢や希望を与え、次世代を担う子どもたちにとって大きな目標となっています。令和 12（2030）年には島根県において第 84 回国民スポーツ大会が開催される予定であり、競技力向上の取組を図るとともに、市内での競技実施に向けて老朽化した各スポーツ施設の整備・改修を進める必要があります。

基本方針

- 心身の健康を増進するため、子どもから高齢者までのあらゆる世代に応じたスポーツ・レクリエーション活動を推進します。
- スポーツ少年団や各種競技団体等と連携し、スポーツ精神の高揚と競技力の向上を図ります。
- 浜田市スポーツ施設再配置・整備計画等に沿って、スポーツ施設の適正な整備及び改修を行い、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境を維持します。

主要施策

1. スポーツ・レクリエーション活動の推進

- 生涯スポーツ社会の実現を目指して、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる機会の充実に取り組みます。また、スポーツ関係団体やスポーツ推進委員との連携によりスポーツ・レクリエーション活動推進体制の充実に取り組み、スポーツリーダーの人材育成と資質の向上に取り組みます。

【主な事業・取組】 総合スポーツ大会の開催、軽スポーツ活動の推進

【代表的な目標】

目標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)	目標・指標の説明
総合スポーツ大会参加者の増加	年間1,907人	9,600人	総合スポーツ大会への年間参加者の数の令和4～7年度の累計
軽スポーツ教室開催回数の増加	年間6回	48回	市等が開催する軽スポーツ教室の年間開催回数の令和4～7年度の累計

【進捗状況】

目標	目標値 (令和7年度)	実績値		進捗評価	備考
		令和4年度	令和5年度		
総合スポーツ大会参加者の増加	9,600人	1,903人	3,993人	B	令和5年度の単年度実績は2,090人
軽スポーツ教室開催回数の増加	48回	9回	18回	B	令和5年度の単年度実績は9回

【進捗評価】 A：順調、B：一定の進捗がある、C：遅れている

令和5年度の主な取り組みと成果

- ・各地域でファミリースポーツ教室を5回、軽スポーツの集いを1回実施し、スポーツレクリエーション活動の推進に取り組みました。
- ・総合スポーツ大会も例年どおり開催し、市民のスポーツ振興に努めました。

今後の展開

- ・総合スポーツ大会については、主催の浜田市体育協会と協力し、スポーツ振興を進め大会参加者の現状維持、増加に努めます。

- ・軽スポーツ活動の推進については、スポーツ推進委員と連携し、各地区で実施の活動を継続するとともに、地区間で連携した取組も進めることで、活動の活発化に努めます。

2. スポーツ精神の高揚と競技力の向上

- スポーツ少年団活動やトップアスリート事業の開催を通じて、年少者に対する礼節の尊重や友情を育む心を養う等のスポーツ精神の高揚を図ります。また、競技力の向上と競技人口の拡大を図るとともに、トップアスリート等による技術指導やメンタル強化のための教室を開催する等、高いレベルのスポーツに触れる 機会の充実に向けて取り組みま

【主な事業・取組】 トップアスリート等の各種スポーツ教室の開催

【代表的な目標】

目標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)	目標・指標の説明
トップアスリート事業の開催回数の増加	年間0回	10回	トップアスリートによる教室の年間開催回数の令和4～7年度の累計

【進捗状況】

目標	目標値 (令和7年度)	実績値		進捗評価	備考
		令和4年度	令和5年度		
トップアスリート事業の開催回数の増加	10回	0回	26回	A	

【進捗評価】 A：順調、B：一定の進捗がある、C：遅れている

令和5年度の主な取り組みと成果

- ・「JFA 夢の教室」を開催し、小学校でトップアスリートとの交流や授業を通じて、高いレベルのスポーツに触れる取り組みを実施しました。
- ・エキスパート指導者招聘事業により、元プロ野球選手の清水雅治氏を招聘し、指導者向け研修会を10回、野球教室を3回、小学校への訪問授業を4回実施するなど、プロ指導者による指導方法や技術指導などを行いました。

今後の展開

- ・「JFA 夢の教室」を例年どおり実施し、トップアスリートとの交流事業を行います。また、エキスパート指導者招聘事業は前年よりは縮小しますが、引き続き清水雅治氏により、スポーツ少年団等を中心に高いレベルのスポーツに触れる機会の充実を努めます。

3. スポーツ・レクリエーション環境の整備

- 市民が気軽にスポーツに親しむ場として、地域住民に学校体育施設を開放し、身近で使いやすい施設運営を進めます。また、令和12(2030)年に島根県において第84回国民スポーツ大会が開催されるに当たり、市内での競技実施に向けて各スポーツ施設整備を進めるとともに、浜田市スポーツ施設再配置・整備計画及び長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の安全対策と計画的な改修を進めます。

【主な事業・取組】 学校開放事業の利用増加

【代表的な目標】

目標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)	目標・指標の説明
学校開放事業の利用数増加	年間6,091件	26,800件	学校開放事業の年間利用件数の令和4～7年度の累計

【進捗状況】

目標	目標値 (令和7年度)	実績値		進捗評価	備考
		令和4年度	令和5年度		
学校開放事業の利用数増加	26,800件	6,587件	13,306件	B	令和5年度の単年度実績は6,719件

[進捗評価] A：順調、B：一定の進捗がある、C：遅れている

令和5年度 of 主な取り組みと成果

- ・学校開放事業で利用する体育館のカギの貸し借りについて、複数利用する団体には月単位で貸すなど手続きの簡素化を行い、利用しやすい環境を整えました。

今後の展開

- ・各学校施設で活動可能なスポーツ活動及び事業利用に関する手続き方法等について、ホームページにて周知することで、利用者及び利用件数の増加を図ります。
- ・学校施設利用時にかかる手続きについて簡素化することを検討し、利用者の負担軽減を図ります。

令和5年度の生涯スポーツの振興・総評 ～浜田市教育委員会自己点検・評価表から抜粋～

少子高齢化により競技人口が減少するなか、市民のスポーツに対するニーズは多様化している。また、「人生100年時代」を見据え、心身ともに健康で過ごせる健康寿命の延伸が課題となっている。このことから、一人一人のライフスタイルに応じてスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現が求められている。これらを踏まえ、子どもから高齢者まであらゆる世代に応じたスポーツ・レクリエーション活動の推進、スポーツ少年団や各種競技団体等との連携によるスポーツ精神の高揚と競技力の向上、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境整備等に取り組んだ。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていなかったJFA ころのプロジェクト「夢の教室」を4年ぶりに実施するなど、トップアスリート等の各種スポーツ教室を実施することができた。新型コロナウイルス感染症の影響による活動の自粛が少なくなっており、各種大会やイベントなどを通じて、各競技団体等とともにスポーツの振興に取り組んだ。